

株式会社ゲンロンが第36回梓会出版文化賞 特別賞を受賞

株式会社ゲンロン(本社：東京都品川区 代表取締役：上田洋子)は、「第36回梓会出版文化賞」において、特別賞を受賞いたしました。

梓会出版文化賞は、1984年(昭和59年)に創設された、優れた出版活動を継続して展開する出版社を顕彰する賞です。贈呈式は、2021年1月18日(月)に一ツ橋の如水会館にて開催される予定です。

■ 一般社団法人 出版梓会

<http://www.azusakai.or.jp/>

■ 梓会出版文化賞についての詳細

<http://www.azusakai.or.jp/bunka.html>

[第36回梓会出版文化賞、第17回出版梓会新聞社学芸文化賞 受賞結果]

第36回梓会出版文化賞：一般財団法人東京大学出版会

第36回梓会出版文化賞 特別賞：株式会社ゲンロン

第17回出版梓会新聞社学芸文化賞：一般社団法人京都大学学術出版会、株式会社晶文社

[選考員]

五十嵐太郎、加藤陽子、斎藤美奈子、外岡秀俊、竹内薫（敬称略）

[株式会社ゲンロンとは]

ゲンロンは、2010年4月に、批評家の東浩紀によって創業されたベンチャー企業です。

出版、カフェ、スクール、友の会運営の4つをおもな事業とし、2020年4月で創立10周年を迎えました。

出版分野では思想誌『ゲンロン』(2015年～)、月刊の姉妹誌『ゲンロンβ』(2013年～)に加え、2018年より単行本シリーズ「ゲンロン叢書」の刊行を開始しました。第1巻の小松理虔『新復興論』が大佛次郎論壇賞を受賞するなど、新興のレーベルとしては異例の高い評価を集めています。

また創業10周年を期して、2020年4月には有料記事サイト『ゲンロンα』を、10月には放送プラットフォーム『シラス』を開設しました。

2013年から運営している東京・五反田のイベントスペース「ゲンロンカフェ」では、各界の言論人を招いたトークイベントを開催し、動画の生配信を行っています。通年の連続講座「ゲンロンスクール」からは、商業媒体で活躍する気鋭の美術家、作家、マンガ家を続々と送り出しています。これらの事業を支える「ゲンロン友の会」は、弊社刊行物の定期購読に加え、カフェの割引、スクール優待などを含む総合パッケージとなっています。2020年11月の会員数は3,400人を越え、年々拡大を続けています。

株式会社ゲンロン

東京都品川区西五反田1-16-6 イルモンドビル2F

<https://genron.co.jp/>

mail : info@genron.co.jp tel : 03-6417-9230 fax : 03-6417-9231

ゲンロンの主な事業(出版)

[ゲンロンシリーズ]

東浩紀が編集長を務める思想誌『ゲンロン』。第1期の『ゲンロン』は、戦後日本の哲学と文芸批評の伝統をアップデートする試みとして読書界で高い評価を得ました。第2期の『ゲンロン』は、第1期を継承しつつも、より広い読者を対象とした新たな知的言説の創出に挑みます。

[ゲンロン既刊単行本]

ゲンロンが送る人文書の新たなスタンダード。大佛次郎論壇賞を受賞した小松理虔『新復興論』、各紙絶賛の大山顕『新写真論』など、長く読み継がれる必読書を刊行しています。

[ゲンロンβ]

『ゲンロンβ』は毎月発行、配信している電子批評誌です。2013年に『福島第一原発観光地化計画メルマガ』として創刊された雑誌で、2019年春時点ですでに通巻号数は100を超えています。

[ゲンロンα]

『ゲンロンα』はゲンロンがかつて発行していた会員誌や『ゲンロンβ』に掲載された過去記事を掲載し、アーカイブする、会員制の有料記事サイトです。2020年4月に開設され、週2回の更新を続けています。時代をとらえるオリジナル記事も続々追加されています。

<https://genron-alpha.com/>

その他の事業

[ゲンロンカフェ]

東浩紀がプロデュースする、東京・五反田のトークイベントスペースです。イベントの様子はウェブで中継され、アーカイブ動画の販売も行なっています。

<https://genron-cafe.jp/>

[シラス]

2020年10月にオープンした、ゲンロンが中心となって制作し運営する、配信者と観客がともに育つ新しい放送プラットフォームです。ゲンロン以外にもさまざまなチャンネルが開設予定です。

<https://shirasu.io/>

[ゲンロンスクール]

株式会社ゲンロンが運営する市民講座事業です。現在は「大森望 SF 創作講座」「ゲンロンひらめき☆マンガ教室」「ゲンロン新芸術校」を開講中です。

<https://school.genron.co.jp/>